

包括外部監査結果等に基づく措置状況（平成22年度）

テーマ：清掃事業に係る事務の執行等について【意見分】

報告書頁	指摘事項等	措置計画	措置状況(担当課)
33	Ⅲ．一部事務組合への負担金等の支出について 容器包装リサイクル事業から玉山区が対象外になっていることについて 容器包装リサイクル事業について玉山区を施策の対象とすることが，市全体としての重要施策であることから，全市を挙げてごみ減量とリサイクル徹底のため，早急に玉山区の実態に合った収集方法等を立案して対象とすべきである。	玉山区での紙製・プラスチック製容器包装リサイクル事業実施については，玉山区とともにごみの中間処理を行っている岩手町と足並みをそろえて実施する必要があることから，引き続き岩手町や岩手・玉山環境組合と分別収集の拡大の実現に向け，協議を進めてまいります。 (廃棄物対策課)	●未措置 事業主体である岩手・玉山環境組合が中心となり，玉山区，岩手町での紙製・プラスチック製容器包装リサイクル事業導入に向け，関係三者による分別収集拡大の協議を行い，玉山区と岩手町から排出されるごみの組成分析や事業を導入している施設の見学など，基礎調査を重ねております。 (廃棄物対策課)

包括外部監査結果等に基づく措置状況（平成22年度）

テーマ：清掃事業に係る事務の執行等について【意見分】

報告書頁	指摘事項等	措置計画	措置状況(担当課)
56	VI. 資源ごみの回収事業 資源ごみの回収コストに係る定期的な検討の必要性について 集団資源回収はごみ減量や地域コミュニケーションを高めるといった主要な目的はあるが、同時に資源ごみの回収に関する経済合理性の観点からのモニタリングや定期的な検討が必要である。今後は、収集コストの把握、報奨金の適正額等に関する定期的な検討を行うべきである。この検討には、資源ごみの種類ごとの回収コストの試算結果、または資源ごみ全体としての回収コストの試算結果を基準に検討する等様々な方式が考えられるが、行政回収のコストの範囲なども含め、予め検討方法を決めておくべきである。	資源集団回収は、家庭や地域のコミュニケーションが深まり、リサイクル意識が高揚するなどの啓発効果があることから、今後も資源集団回収を積極的に推進することとしており、経済合理性の観点から検討を行う予定はありません。行政回収については、収集品目の混載など収集方法の多様な可能性を検証しながら収集コストの把握を行うとともに、コスト試算の方法等、定期的な検討方法の検討を行ってまいります。 (資源循環推進課)	●未措置 行政回収の収集コスト試算については、年度ごとや収集方法別に収集運搬費用、再商品化委託料、分別に係る人件費、収集量、売却収入等を対象として試算しているほか、他の方法についても検討しています。 (資源循環推進課)

包括外部監査結果等に基づく措置状況（平成22年度）

テーマ：清掃事業に係る事務の執行等について【意見分】

報告書頁	指摘事項等	措置計画	措置状況(担当課)
65	(3) 外注契約のあり方について リサイクルセンターと玉山廃棄物処分場は、担当毎に別個に水質検査に係る契約締結している現状は経済性を損ねるおそれがある。業務委託をまとめることにより費用が低減する可能性があるため、業務区分全体の見直しの可否について検討すべきである。	リサイクルセンターにおいては、まとめられるものについて一括して契約しております。玉山廃棄物処分場においては、ダイオキシン類検査業務とそれ以外の水質検査業務をそれぞれで契約する方法としておりますことから、当該業務委託の実施にあたり業務の見直しと調整を図ってまいります。 (リサイクルセンター，税務住民課)	○措置済 リサイクルセンターと玉山廃棄物処分場の水質検査の契約については、平成25年度から統合することとしております。 (リサイクルセンター，税務住民課)